

調査期間・海域 令和2年4月27日 豊後水道中・南部
調査船 試験船「よしゆう」 * 近年値: 4月(2017-2019)の調査における過去3年間平均

- 1 表面水温および透明度(表1、図1)・・・水温は低め・透明度は南部でやや高め
豊後水道中部(Stn.1~2及びStn.7)および豊後水道南部(Stn.3~6)の表面水温は、それぞれ16.9~17.4℃(平均17.1℃ 近年値18.7℃)、17.5~19.0℃(平均18.4℃ 近年値19.4℃)で、中部、南部ともに近年値と比べ低めであった。
透明度は、中部では16.0~18.0m(平均17.0m 近年値16.8m)、南部では16.0~20.0m(平均18.2m 近年値17.4m)で、近年値に比べ中部は平年並み、南部はやや高めであった。
- 2 流れ藻の分布(図1)・・・近年値より少ない
調査時の流れ藻視認個数は1.5個/10マイル(中部2.7個/10マイル、南部0.8個/10マイル)で、近年値3.9個/10マイルを下回った。採取した流れ藻の重量は平均7.6kgで、近年値の27.7kgより小さかった。
- 3 モジャコの採捕状況(表1)・・・モジャコの数は少ない(38尾/調査日)
採捕尾数は合計38尾(中部23尾、南部15尾)で、近年値の395尾を大きく下回った。
流れ藻1kg当たりのモジャコ採捕尾数は0.7尾/kg(中部1.0尾/kg、南部0.5尾/kg)で、近年値の4.8尾/kgを下回った。モジャコ以外の魚種はメバル704尾、ニジギンポ6尾、メジナ4尾、カエルアンコウ科2尾、カンパチ2尾、イシガキダイ1尾、アミメハギ1尾、イボダイ1尾が採捕された。
- 4 モジャコの大きさ・・・近年値よりやや大きい
採捕されたモジャコの尾叉長は平均59.7mm(16.3~153.0mm)で近年値の52.4mmより大型であった。

表1 4月海況及びモジャコの採捕状況

調査項目	海域	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	近年値
		【4/22】	【4/26】	【4/20】	【4/23】	【4/16】	【4/27】	
水温 (°C)	中部	18.6	19.6	19.3	19.3	17.4	17.1	18.7
	南部	19.7	21.4	18.4	20.9	19.0	18.4	19.4
塩分 (psu)	中部	34.5	34.7	34.7	34.5	34.6	34.6	34.6
	南部	34.6	34.8	34.6	34.5	34.6	34.7	34.6
透明度 (m)	中部	20.0	18.0	18.6	14.5	17.3	17.0	16.8
	南部	18.0	18.2	19.8	16.5	16.0	18.2	17.4
流れ藻視認個数 (10マイル当たり)	中部	2.6	2.6	1.3	0.0	7.4	2.7	1.3
	南部	0.0	0.0	12.6	2.6	12.4	0.8	5.3
流れ藻採取数	中部	3	3	2	0	3	6	2.7
	南部	0	0	6	6	6	2	4.7
モジャコ採捕尾数 (調査日数当たり)	中部	426	229	135	0	6	23	47
	南部	0	0	372	535	139	15	348
流れ藻1kg当たりの モジャコ採捕尾数	中部	7.5	2.6	9.6	0.0	0.0	1.0	3.2
	南部	-	-	1.4	14.9	0.6	0.5	5.6
モジャコ平均 尾叉長(mm)	中部	26.8	26.2	52.5	-	64.1	41.1	58.3
	南部	-	-	38.3	57.6	30.9	78.3	42.5

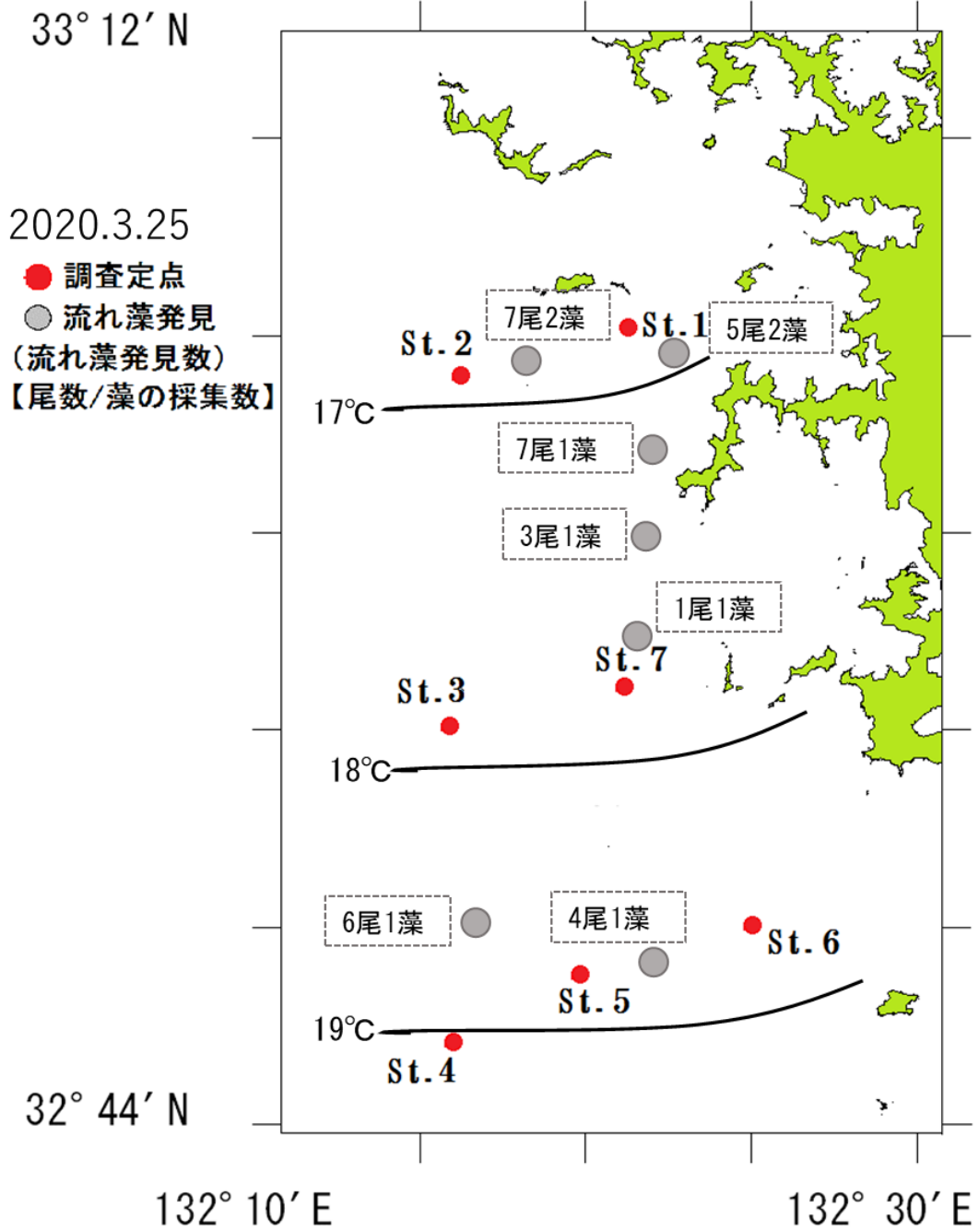
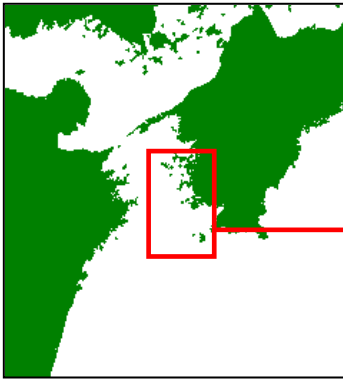


図1 漁場一斉調査(もじゃこ調査)定点図

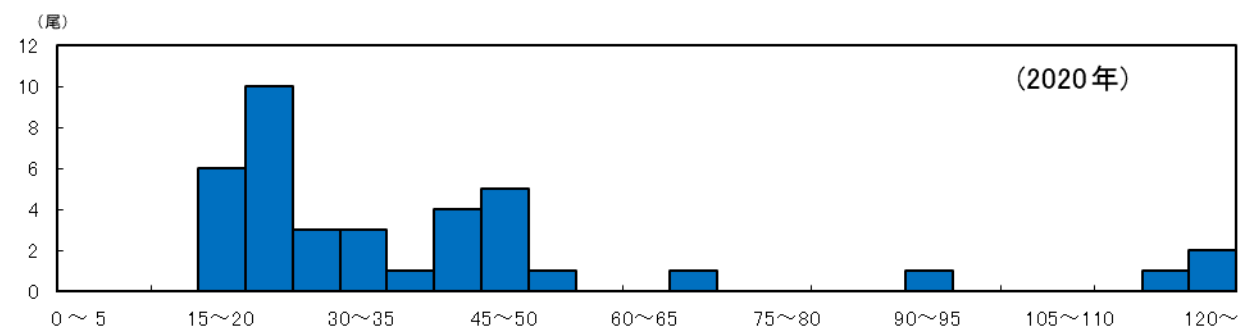
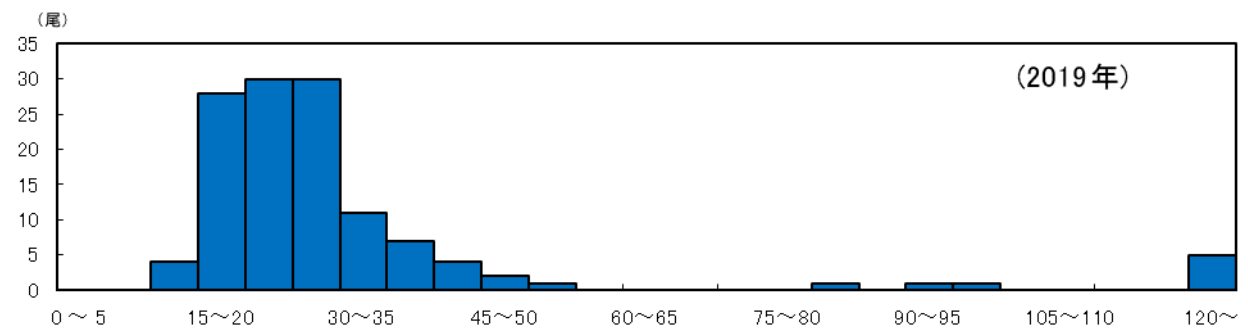
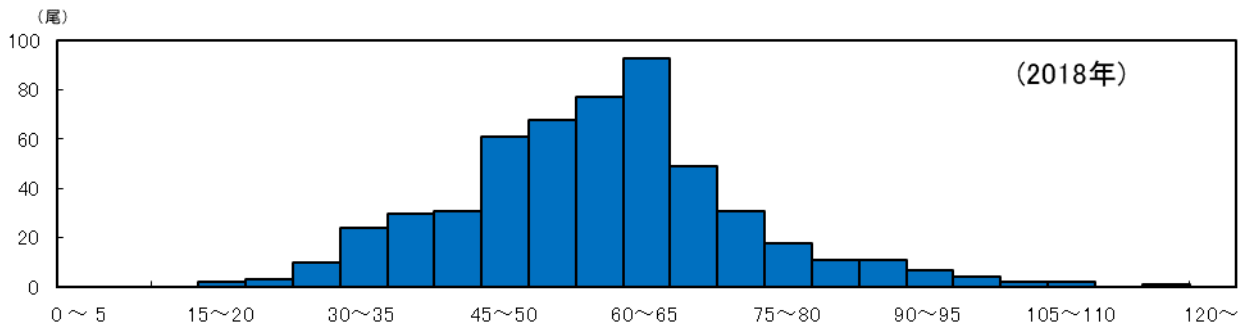
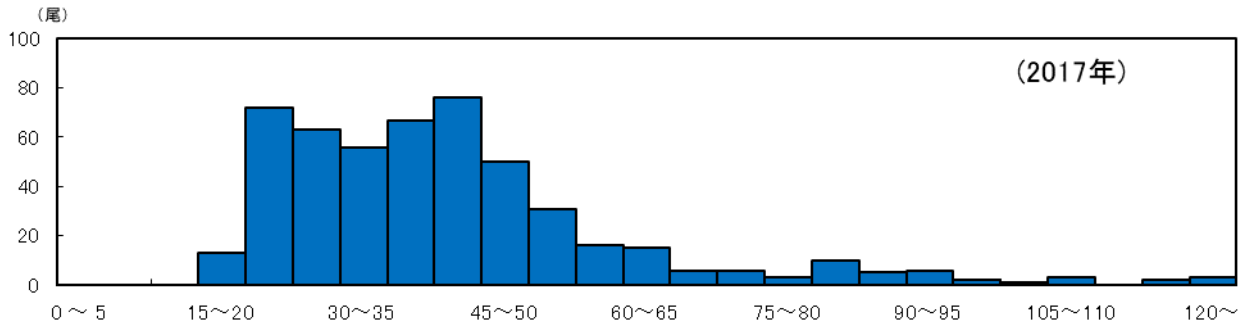


図2 採捕年別モジャコ体長組成